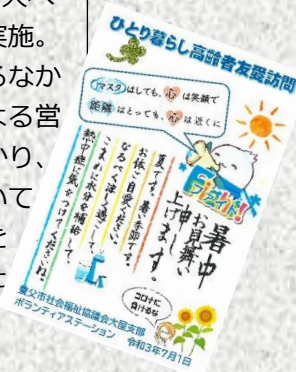


第6号

発行日
令和3年
7月15日



◀ 7月1日、大屋地域の87歳以上のひとり暮らし高齢者61人へボランティアが友愛訪問を実施。高齢者の生活状況を聞き取るなかで不審な業者からの電話による営業が多発していることが分かり、来宅を約束した高齢者については、関係機関につなぎ被害を未然に防ぐことができました



福祉連絡会と杜協をつなぐ情報紙 ねっとわ〜く (復刻版)

編集・発行:養父市社会福祉協議会
生活支援コーディネーター

新たなメンバーと共に進める小地域福祉活動 ～すべては養父市の「ふだんのくらしのしあわせ」のために～

令和3年度がスタートし3カ月半が経過しました。まもなく東京オリンピック・パラリンピックが開催されるなど明るい話題もある一方、人流増加による新型コロナウイルスの感染再拡大が懸念されている状況です。

地域では、今年度 **1,102 人の福祉連絡会メンバー**（うち、福祉委員 **765 人**）が「離れていても心の距離は近くに」「こんな時だからこそ、何かできることがないか？」との思いを持ちながら、with コロナの時代と向き合い、人と人とのつながりを育み続ける方法について話し合っています。

今回の『ねっとわ〜く』では、安心して暮らせる日常を取り戻すために、新たなメンバーと共に進める小地域福祉活動をご紹介します。

養父地域

「登校前に声掛け！ 子どもたちを見守るラジオ体操」（奥米地区）

奥米地区では、平日の朝、ほたるの館前のガレージを会場に高齢者が集まりラジオ体操をしています。平成29年、夏休みのラジオ体操に参加したことをきっかけに、民生委員・児童委員が夏以降も続けていこうと声かけをし、土日以外は毎日7時30分（冬季は8時30分）から行っています。

7月1日は5人が参加。最初に会場の掃き掃除をしたあと、ストレッチ、ラジオ体操第1と第2、やぶからぼう体操の順番で汗を流しました。終わった後はウォーキングに行く参加者もいるとのこと。みなさん身体が軽やかです！

また、このラジオ体操には、もう一つのねらいがあります。

それは登校前の小中学生を見守ること。この日も、スクールバスに乗るために集まる子どもたちに「行ってらっしゃい！」と声かけをし、子どもたちも手を振って応える姿が見られました。

奥米地では、コロナのため休止していた「毎日元気にクラス」も7月から再開するそうです。

▶体操の手を止め子どもたちを見送る参加者。屋根のあるスペースで雨の日も広々と体操ができます



大屋地域

「高齢者宅を訪問し、緊急情報キットの設置を呼びかける」（栗ノ下区）

栗ノ下区は、毎月1日に福祉連絡会を開催し、取り組みの相談や情報交換を行っています。

6月26日、高齢者25人に友愛訪問を行い、熱中症予防などの声かけをしながらスポーツドリンクを届け、合わせて緊急情報キットの設置を呼びかけました。

7月4日には、設置を希望した11人にキットを届けて説明し「薬や緊急連絡先などが変わったら、書きかえて」と伝えました。また、以前からキットを備えている人へは、シールを新しいものに変えたり貼る場所の確認をしたりしました。

今後も年1回程度、内容更新の確認などを福祉連絡会が声かけをして一緒に行う予定です。



緊急情報キットの説明をする福祉委員▲

関宮地域

「要援護者の情報共有や災害時の支援内容を検討」（相地区）

6月26日、相地区福祉連絡会を開催しメンバー6人が参加。「福祉・防災マップ」の更新や今年度の活動計画について話し合いました。

マップの更新では、要援護者の情報共有や災害時における支援の分担を決めていきました。

活動計画では、今年度も「声かけで 笑顔の心 地域の輪」をスローガンに声かけ・訪問・子どもの見守り活動を進めることのほか、ふれあい喫茶もコロナ対策を行ったうえで開催していくことになりました。

また、区民が介護保険料還付金詐欺を未然に防いだ報告があり、注意喚起を行いました。



▲新規追加の要援護者についても検討

● 社協が進める小地域福祉活動 ●

小地域福祉活動は、身近な暮らしの場で、誰もが安心して生きがいある生活がおくれる地域づくりを目指して、住民が力を合わせ、関係機関と協力しながら進める住民自身による自主的な活動です。

福祉委員の設置

・福祉委員は、地域での困りごとや情報を把握する地域のアンテナ役です。課題の解決に向けて活動を進めます。設置数は隣保ごとか、10～20世帯に1人です

福祉連絡会づくり

・各区で、福祉委員、区長、民生委員・児童委員、民生・児童協力委員などで組織される「福祉連絡会」は、福祉活動の企画や、地域で課題となっていることを話し合う「協議の場」です（市内設置数：155区）

福祉連絡会の活動例

交流の場づくり
（ふれあい喫茶・地域行事）



協議の場づくり
（福祉連絡会）



学びの場づくり
（福祉学習・健康教室）



協働の場づくり
（見守りあい・ささえあい活動）



いのちを守る場づくり
（一斉避難訓練）



【編集後記】 『ねっとわ〜く』では、これからも、地域のちょっとしたいい話、笑顔になるエピソード、みんなで協力して取り組んだ活動などを情報発信していきます。ぜひ、いろいろな情報をお寄せください。

だれもが つながり ささえあう いのち輝く まちづくり ～オール養父市で未来へ～
社会福祉法人養父市社会福祉協議会

〒667-0022 養父市八鹿町下網場 320 地域交流センター「福祉の杜」



Web サイト:

<http://www.yabu-shakyo.jp/>



連絡先:

079-662-0160



メール アドレス:

info@yabu-shakyo.jp